

# 永遠の水源地

Origin × 【3,782】 × X = Sustainable

水源に生きる【3,782】人、ひとりひとりの個性を最大化することが、  
まちの持続可能性となる

第7次土佐町振興計画

2021.4

## 第7次土佐町振興計画

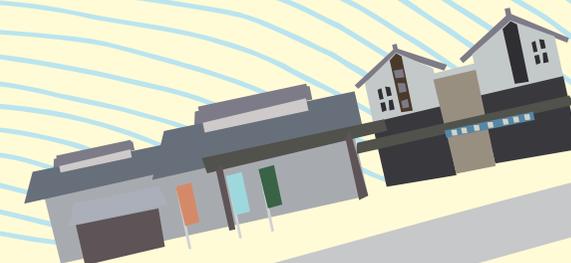
### 2030年の「持続可能な土佐町のすがた」を描く

土佐町がこれからの10年間で実現を目指す“理想のまちの姿”（ビジョン）それが「第7次土佐町振興計画」です。

“現在の土佐町”で暮らしているひと、そして“将来の土佐町”で暮らすひと。そのいずれもが幸福に暮らすことができるまち。すなわち「誰ひとり取り残されない持続可能な土佐町」を実現していくための指針として、本計画は策定されました。

昔から続いてきた土佐町の暮らしの幸せの源泉を探る「町民幸福度」これからも世界が持続可能であるために、2030年に実現を目指す理想の世界の姿である「SDGs（持続可能な開発目標）」

土佐町の“これまで”と“これから”を繋ぐ2つの取組を軸に、「昔からある暮らし」の価値をしっかりと次世代に繋いでいきながら、同時に、激動する世界の変化にも対応していくことができる。そのようなまちづくりを実現していきます。



## 計画の位置づけ

土佐町振興計画は10年に一度策定される町の最上位計画です。

土佐町の全ての取組を検討する際の判断軸となるととても大事な計画ですが、これまでの土佐町のまちづくりにおいて十分に省みられてきませんでした。

限られた人数の役場職員が計画策定を担ってきたため、職員全体として振興計画への理解が充分ではなく、策定のプロセスに町民が参画し意見を言う機会も少なかったこと。

社会や世の中の移り変わり、時代の変化のスピードが加速し、10年間全く変更がないまま同じ内容の計画を続けていくことが不可能になってきたこと。

こうした課題や反省を踏まえ、今回の第7次振興計画では2つのことを重視しました。

まず一つめは、できるだけ多くの町民の方の声を集め、その全てを計画に反映させること。

このため本冊子にも、計画策定の過程でいただいたご意見を、ほぼ全て変えることなく掲載しています。

そして二つめは、2030年の「土佐町のありたい理想の姿（ビジョン）」を描くことに集中すること。

北極星のように“目指す方向”が分からなければ、歩き出すことはできません。一方で、激動する時代のなかで、そこに近づいてくための“手段・方法”は常に変化し、試行錯誤を重ねていく必要があります。

このため本計画では、2030年の土佐町における「ビジョン」のみを描き、その具体的な内容について常に評価と検証、そして見直しを継続していく仕組みを新たに構築することにしました。

本計画に描いた10個のビジョンは、町民の声を集めることで完成した「土佐町版SDGs」2030年の実現に向けて、最初の一歩を踏み出すときが来ました。

# 土佐町のビジョンを設定する上で大切にしたいこと

土佐町を取り巻く社会環境は厳しさを増し、土佐町自身もさまざまな課題を抱えています。

SDGs で解消を目指していくような、地球全体が直面している様々な課題に、地域として対応していなければならない時代にもなってきました。

これらの変化に柔軟に対応し、私たちが抱える課題を、町民一人ひとりが主体性を持って解決できる、しなやかで強い町づくりが必要となってきています。

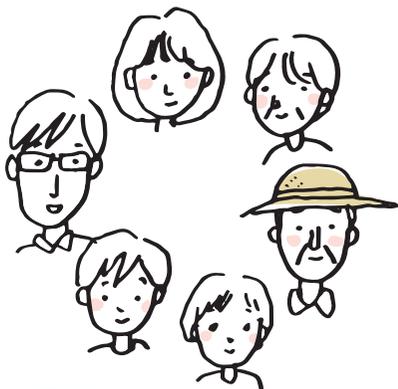
ここでは、振興計画で掲げた土佐町のビジョンづくり、そしてその実現に向けて大切にしていきたい視点を紹介します。

## 1 「町の声」を聞く



- ・町民【3,782人】ひとりひとり想いを集めることで、町はできています。
- ・若い世代の方々、地域の老若男女の皆さま、可能な限り多くの町民の方から声を聞いて、町の将来のすがたを描いていくことが重要です。
- ・たとえ少数の意見でもないがしろにせず、みんなで話し合うことを大切にしていきます。それこそが、“誰ひとり取り残されない” みんなが暮らしやすい町に繋がります。
- ・そのために、計画策定にあたってだけでなく、これからも町民の声をうかがう機会を設けながら、まちづくりを進めていきます。

## 2 昔から続いてきた土佐町の「暮らしの価値」を受け継ぎ、「誰ひとり取り残されない」



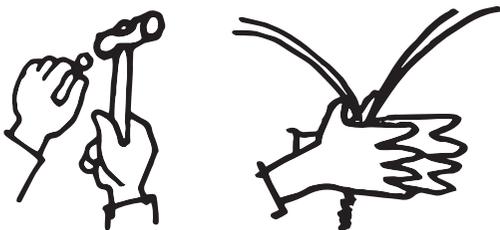
- ・本計画の策定にあたっては、「2030年の土佐町の持続可能な姿」を描くため、2030年に町の中心となっていく世代（現在20代から40代の世代）の声を積極的に取り入れました。
- ・そのため、計画の内容が若者世代・子育て世代に向けたものに偏っており、これまで土佐町の暮らしの価値を大切に守ってきてくれた世代の声、その世代のニーズを軽んじているように見えてしまうこともあるかもしれません。
- ・本計画が目指すのは、土佐町がこれまで大切につくってきた「価値」を、これからの時代においても持続可能なものとしていくこと。そして、それを通じ「誰ひとり取り残されない」まちづくりを実現していくことです。
- ・「医療・福祉」等これまでの町の取り組みの中で、充実しており成果が出ていると考えられるものについてもしっかりと継続をしていくとともに、今後の見直しの際に計画への反映も積極的に進めていきます。

### 3 「新しいもの」も取り入れる



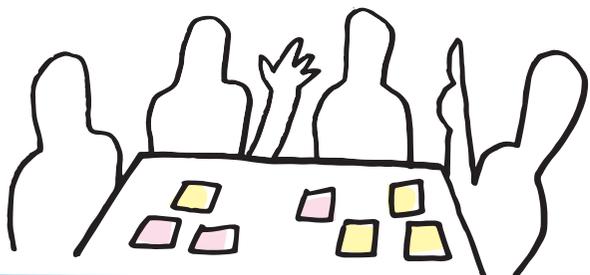
- ・人口減少や地域の担い手不足により、地域の産業やコミュニティ、地域の暮らしの維持が難しくなっているつつあります（例えば第一次産業（農畜林業）の担い手の高齢化、草刈りする人がいなくなってきた等）
- ・このため、持続可能な土佐町をつくっていく上で、新たな人材や、デジタル技術などの新たな技術を受け入れることも必要となっています。
- ・地域に昔からある「暮らしの価値」を大事にし、それを持続可能にしていくためにこそ、「新しいこと」にも挑戦していきます。

### 4 「ひとりひとりの個性」が活きる



- ・本計画策定のなかで見えてきた、町民の皆さまそれぞれの想いや、やりたいこと。
- ・それぞれの個性や得意分野を活かしていただきながら、町で暮らす全ての人に出番があり、全ての人が主役になることができるまちづくりを進めることが、地域に愛着を持ちながら、生き活きと暮らしていくことができる、持続可能なまちづくりに繋がっていきます。
- ・今後も町民の皆様に参加いただく話し合いやワークショップ等を積極的に開催し、新たな施策の検討や、町民と行政との協働、町民の意欲的な活動を応援していく取組を、これまで以上に推進していきます。

### 5 「計画を立てて終わり」にしない



- ・残念ながら、これまで策定した様々な計画には、策定後に進捗や達成状況が十分に振り返られることがないままとなってしまうものもありました。
- ・また、近年は世の中の移り変わりも早いため、10年間全く変更がないまま続けていくことができる計画をつくることは困難です。特に、土佐町の目指す姿の実現に向けて、具体的に取り組む「施策」（手段）は時世を踏まえ、常に見直しを図っていくことが重要です。
- ・このため、本計画では、2030年に実現したい「土佐町のありたい姿」（ビジョン＝町が目指す方向性）を明らかにすることを重視しました。
- ・また、「計画を策定して終わり」ではなく、毎年度の進捗状況や達成度、ビジョンの実現に向けて取り組む施策の内容については、4半期（年4回）程度ごとに、町民の皆さまにも参画いただきながら、見直しを続けていきます。

# 永遠の水源地

Origin × 【3,782】 × X = Sustainable

水源に生きる【3,782】人、ひとりひとりの個性を最大化することが、  
まちの持続可能性となる

## みなもときわ みずきわ 「源窮まりて、水窮まらず」

やがては大河を為す水源を突き止めたところで、そこから水が渾々(こんこん)と溢れ出すことに変わりはない。尽きることのない水流のように、昔から続いてきた土佐町の魅力を育み、一方で新しいものも取り入れながら、土佐町民ひとりひとりが最大限活躍し、誇りに思えるまちづくりを進めていこう。そんな想いから、「永遠の水源地、土佐町」というビジョンは生まれました。

## 水は絶えない。だからこそ変えることを恐れない。

絶えることのない水源のように、昔から続いてきた土佐町の暮らしの価値が失われることはありません。今までのかたちを変えること、一度全てを捨て去るつもりになって再生していくことを恐れず、持続可能なこの町の未来を切り開いていきます。

その上で、これまで土佐町を支えてきた人々が助言者にもなりながら、次の時代を担う若者が活躍できる土壌を醸成していく。3,782人の老若男女が一体となって、守るべきオリジナルの土佐町に、新しい要素を掛け合わせていくことで、持続可能な土佐町の未来の姿ができあがります。

## 2030年のすがたを 実現する 分野別ビジョン



教育・学び・子育て



スポーツ



文化、図書館、アート



自然環境と農畜林業



仕事・産業



愛（地域愛）



繋がり



安心安全な暮らし



人口減少



その他（行財政）

第7次土佐町振興計画は「2030年の持続可能な土佐町の姿」を描く計画です。

では、「土佐町が持続可能である」とはどういうことでしょうか。何を達成し、どういう状態になれば、町はこれからも持続することができるでしょうか。

土佐町には豊かな自然や、美しい棚田があります。きれいな水とおいしい食べもの。何より、昔から続いてきた暮らしの価値があります。できることなら、そうした「土佐町らしさ」をこれからもずっと大切に守っていきたい。

一方で、土佐町はこれから急激な人口減少に直面します。1965年に約8,500人いた町の人口は、2030年には約3,000人となる見込みです。かつての半分以下の人数で、この町の暮らしをつくっていかねばいけません。昔のままでは続けていくことができないこと、変えていかねばいけないこともできます。もしかすると、土佐町が土佐町でなくなってしまうように思えるかもしれません。

「永遠の水源地、土佐町」という言葉には、2つの意味が込められています。「これからもずっと守っていききたい土佐町の価値」と「姿を変えながら、ずっと存在し続ける土佐町の姿」

土佐町が昔から大事にしてきた本質的な価値を未来にもしっかりと伝えていきながら、一方で、時代の変化に対応し、これからの時代にも存続できる土佐町をつくっていく。それこそが、持続可能な土佐町の姿ではないでしょうか。

「水源」は、いつも変わらず水を生み出しているようで、常に周囲の環境に合わせて変化しています。同様に、「水源のまち」である土佐町も、「オリジナルの土佐町」をしっかりと守っていきながら、そこに時代に即した新しい要素を掛け合わせることで、持続可能な未来を描くことができるはずで

そして、そのためには土佐町で暮らす3,782人ひとりひとりが役割を持つことができ、自らの可能性を最大限発揮して、生き活きと活躍できるまちとしていくことが必要です。水源（Origin:起源）に生きる町民ひとりひとりが、他には替え難い個性（Original）を持っています。3,782人の小さな町のように、そこには町民の多様な個性と、想い、文化、暮らしが存在しています。

Origin（水源、そして水源で生きる人々の個性）× 3,782 × X（エックス、未知数、新たな要素）

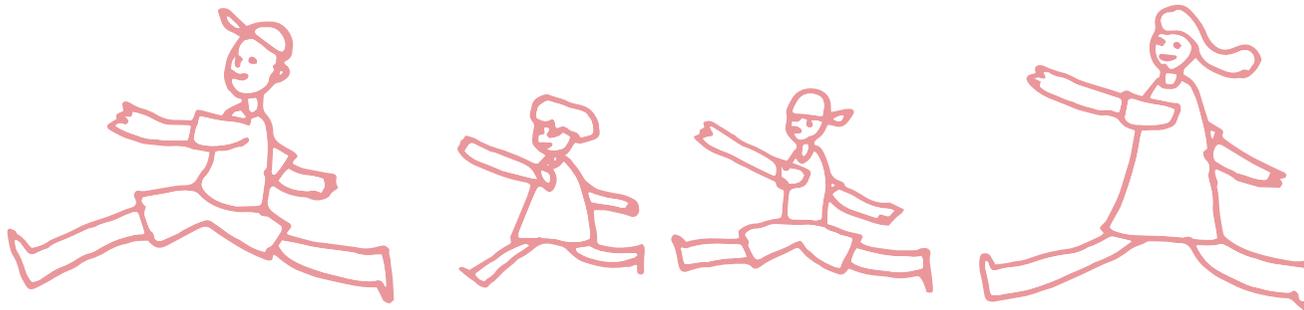
“水源のまち”土佐町に生きる3,782人ひとりひとりの個性が、新たな要素とも掛け合わされながら、最大化されることを通じて、2030年における持続可能な土佐町の姿をつくる。それこそが、第7次土佐町振興計画を通じて実現を目指す未来の土佐町です。

## 教育・学び・子育て

# Quality Education

**この町で「生きる力」を学び、激動する世界に羽ばたいていく。  
町で育つたくさんのおともたちの笑顔を支える。**

子どもたちが育つ環境を整え、ひとりひとりに寄り添う質の高い教育や学びが得られる町としていくことが大切です。土佐町ならではの環境や魅力を活かした教育が、子どもたちの「生きる力」を育み、激動する世界でも活躍できる人財に育てる。これまでもこれからも町全体でそんな子どもたちの成長を支えながら、少しずつでも、子どもが増えていく町にします。



## 2030年の土佐町の「教育・学び・子育て」にむけて

### 地域のみなさんの声（計画の策定にあたり、ワークショップなどでいただいた意見を全て掲載しています。）

●医療費学費免除 ●地域全体で支え合って町を担う子どもが増える。 ●挨拶できる子どもを！  
●地域で子どもを大事にしよう。 ●良識ある思いやりのある子どもに育つ。 ●保小中高の維持

## ●子どもがのびのび育てられる土佐町

●開かれた学校づくりを続けてほしい。 ●子どもが増えて明るい楽しい学校づくり ●学力ばかりやなくて生きる力を身につけられる町。  
●先生が来たいと思う学校 ●学校と地域が一緒になって子どもを育てることが大切やと思います。

●生徒がのびのび正しく育つ教育方針 ●子どもらへの対応が分からんとか、家庭でできる教育を学校へ任せちゃうように感じ、実際に先生方も困っちゃう。●新しい保育園の計画は？  
SDGsをふまえた保育園にしたいねえ。 ●幼児保育 ●子育てが楽しいと思える町にしてほしい。親はしんどい。

何にも頼れるものがない！ファミリーサポートなしでうんと大変。保育園は労働してない人の子どもはあずかれん。

## ●親も育てて、支えてほしい。

●大人が頑張る姿勢を見せて、いろいろな分野で、一つになって、より良い土佐町を目指す。 ●大人の教育がもっとも必要やと思う。研修会などやってもらえると有難い。 ●親が子育てしやすい環境を整えて欲しい。お父さんが育休とるのは難しいけど、週に1回くらい早く帰るなどしてほしい。 ●移住したお母さんは心細くしんどい。産後のお母さんは心も不安定。ちょっとしたカフェはほしい。よそのお母さんも地域で支えられるようにしたい。 ●子どもを連れて行きやすいカフェ。 ●産後のヘルプ産後のケア欲しい。 ●一次保育を安くしてほしい、  
●おむつ引換券みたいな支援があれば ●土佐町には公衆トイレがない。ベビーカーを押しているお母さんのトイレがない。おむつ替えするところがない。改善して欲しい。

●配慮に必要な支援について、教育支援センター に関する内容を盛り込んでいただきたい。学校へいけん、発達障害の方は思うちゅう以上に多い。

●教育員会と学校が協議することが必要。ここ最近の学校はいそがしい。新しいことをすることが難しく、むしろ仕事を減らさんとやっていけんという風を感じる。けんど、子どもは色々な経験が必要。大人の事情で子どもの経験が減るのは良くない。芸術や山登りをしたことない子もおる。学校でやりきれないところを教育委員会や社協で機会を増やして欲しい。 ●ファミサポは正式な資格はいらないのでぜひ増やしていきたい。病後児保育の充実が必要。 ●開かれた学校づくりについて検討の充実が必要。教員も非常に忙しい。学校と地域が一緒になって子どもを育てていくとともに、エドテック（教育テクノロジー）の活用なども検討しながら、教員側の負担を軽減していくことにも取り組んでいくことが必要。同時に、学校へ行くことが難しい子ども達も思っている以上に多いので、教育支援センター等の取組も振興計画に位置付け、推進してほしい。 ●あこ後の活用、放課後の子ども勉強。ボランティア先生（父兄など）を募集する。 ●子どもが楽しめる公園色々な遊具 ●子どものための何かイベントなど。

●私らが子どもの時、 小中学校の間に笹ヶ峰にある自然に触れあう機会が学校以外の離れたグループ（親子遠足など）などであった。そういう機会の良さが、町に出ていった後で分かって、まちに帰って子どもをそういう風に育てたいと思う。人を呼んでくることに力をいれようけど、今の子どもにも力をいれてや。 ●高校生の時、東京で枝打ち体験で自然に触れた経験がある。 ●町内放送は昔小学生のコーナーがあった。朗読を録音して流してくれる。こどもの声が聞こえんかったといいう。インタビューや朗読はみんな楽しみにしよった。 ●仕事と産業で教育もかかわるかも。キャリア教育。仕事を学ぶ場、

## ●町民全員先生だ！

であう場をつくるのが大事なんじゃないかなと思う。 ●笹ヶ峰ウォーキングについて、2年前くらいに草刈りした。道づくり清掃活動を各地区でやりゆう。これからは、子どもをつれてって、一緒に今まで使いよった道の再生に取り組んでいく。高知はとさっこタウン。働いたら対価がもらえるように（現金ではなくお菓子など）したい。坂を歩くことは健康につながるのスポーツにもつながっていきたい。 ●子ども達に対する取組だけでなく、大人や親自身が学びを深め育つことができる仕組みづくりが必要。同時に、

●土佐町の魅力に気づき、つくる教育 医療・福祉・子育て支援の充実、夫婦が等しく子育てに関わることができ、働きながらでも子育てしやすい仕組みづくりについても、計画に盛り込んでいく必要がある。 ●町のイベント行事等を支えてくれた

社会団体が減っている状況。大人にとっても学びの機会、社会貢献活動をしっかりつくっていくこと、こどもにそういう姿をみせていくことが大事。おとなの学びの機会、社会教育・生涯学習につなげていくのも入れて欲しい。●子どもたちの成長のため、「土佐町を知ること」「土佐町外との出会いの機会を充実させること」両面の充実が必要である。以前は小中学生が地域や自然に触れながら町のことを知る機会が多くあり、それらを通じて、地域住民も子どもたちに関わることができていた。また、土佐町で育っていく上で、人との交流や、地域外の情報が不足しがち。人との出会いの機会、キャリア教育や仕事を学ぶ機会についても充実させていってほしい。 ●子どもが自然に触れる機会を推進していかんといかん。自然環境のモニタリングにも繋がる。 ●小学生ふるさとバス⇒町内のスポットを学習してまわる活動（学校の授業に参入）学校と町の

協力が必要。 ●土佐町の歴史を学べる機会を増やす ●こどもたちの教育の部分でいろんな考え方があること ●県外に出た子が帰りとうなる土佐町  
を伝えたい。それがはやくチャレンジできる、アイデアが形にできる施策ができるといいなと思った。 ●若い人が土佐町に帰って来ても働ける場が欲しい。 ●自由に生きる力を育む。

## スポーツ

ここだからこそできるスポーツ。難しくなってきたスポーツ。  
どちらも大事。多様な競技に触れることができる。  
そしてそれが、健康や世代交流にもつながる。

土佐町の豊かな自然環境だからこそできるスポーツがあります。一方で、人口が減り土佐町ではなかなか難しいスポーツも増えてきました。スポーツは健康づくりや世代交流につながるだけでなく、地域で暮らし続けていくために欠かせないものです。人が減っても色々なスポーツを楽しむ環境をつくっていきます。



# Sports for Everyone, Everywhere



## 2030年の土佐町の「スポーツ」にむけて 地域のみなさんの声

●**スポーツに関する教育をやっていききたい。すごく可能性のある町、もっとみんなの協力が必要。**

●今あるものを継続、活かす（野球、ちびっ子相撲、親・地域との関わり、地域対抗運動会） ●(団体スポーツなど) スポーツの指導者をよびたい。(選択肢の増加) ●教育、国際教育科設立、スポーツクラブ活動の種目を増やす ●スポーツを通じた交流の場づくり

●いろいろなスポーツにつながる  
「走ること」⇒基礎の強化

●**フットサルなど少人数の団体スポーツの指導者が来てくれたら…。**

●**スケートボードなど※地形を生かしてコースを作る。**

●オリンピックで話題になるはず エクストリーム系のおそび  
●スポーツ推進。早い段階で外部の指導が受けられるように。

●底上げができる指導をしていく。体力が大切。全てのスポーツにつながる ●子ども自転車のレース (3km)

●**自転車レース絶対面白い**

今度は耐久レース。これ用の自転車。みんなで協力して、知り合いなどを生かして、プロアマが参加交流できる

大会を。人も増える。 ●おこぜの裏など道を生かして自転車レース ●2人1組で自転車1台。 ●子どもの学び場やクラブ等があるとえい (子どもに学びの選択肢が少ない。選択できる環境にしたい) ●新しいものも必要 (複合スポーツ設備等) ●朝練 (中学校) をどの部活も基礎運動にして1人の指導者でまかなえるようにする。(地域のボランティア等?) ⇒教員の負担を減らす。

●部活動の指導⇒外部講師を積極的に、そして ●**スポーツコミッションの使い方。皆が使いやすいコミッションに。**

先生の負担減 ●外部講師は、ハピネススポーツコミッションに在籍するとか。 ●Ateam でやっているみたいに保育・小学で基礎運動能力を高めて色々なスポーツに対応できる子をつくる。 ●これ以上部活を減らさないように。部活は2つ選ぶのを基本とする。第1部活は月水金、第2部活は火木など。 ●中学校、朝練用のバス出してください。地域により親の負担増えるのはおかしい。 ●今現在の生徒であれば、体育館 (土佐町中学校) で間に合っているかもしれませんが、小中が交代で利用している構造で雨の日は小学生が思い切って遊べる場所がありません。考えていただきたい。スポーツだけやなくて、体力づくりにもつながると思います。 ●子どもに伝える機会。学校と連携し計画的に

●**生涯現役！学びとスポーツの機会を**

●色々なスポーツできる ●心身の健康づくり

●湖面からうまれる土佐町人

●温水プール・温泉混合施設を！ ●水泳ならっている

子 (小学生) が、けっこう多い。温水プールがあれば部活できるのに。 ●ハピネスの電話番号とかネット検索してもでない。「小さな場所」で「小さな人数」で体験できるスポーツの場があると最高です。●カヌーテラスで試験的に行われているヨガがとても良いです。 ●SDGs は良く聞かすが、戦略的に考えていきたい。バンガローが壊された資材を残して、その材をカットしペイントさせてオブジェにしようと思う。さめうら (S) ダート (D) グッド (G) スマイル (s)。自転車のタイヤのカラーも SDGs にしたらえい。SDGs と子どもが密接にかかわることをしていきたい。 ●10年前高齢化社会の中、みんな昔ゲートボールしよったに。元気な年寄りが必要。元気な年寄りをつくって活発にスポーツしようやという意見をいれてほしい。

●**老若男女スポーツをする人が増えるには、大会など発表の機会を設けることが有効**

やないろうか。お金をかけなくても、場の提供だけで町営の大会開催とかも考えれる。

## 文化、図書館、アート

昔から続いてきた「文化」や「伝統」を次の世代にも伝え、  
小さいからこそ、豊かで多様な文化資本が存在するまちに。  
そして、この町だからこそ新しい「アート」が生まれるまちに。

「文化」は人間力・共感力・創造力を養い、町の土台となっていくものです。

「読書のまち宣言」を始め、土佐町は知る人ぞ知る文化的な取組が多い町です。文化や芸術、  
神祭や地域行事など様々なイベント。昔からあるまちの「文化」を次の世代に伝えてい  
きながら、一方で、新たなことに挑戦することにも寛容な町を目指していきます。



# Rich and Varied Culture

## 2030年の土佐町の「文化、図書館、アート」にむけて 地域のみなさんの声

●土佐町オリンピック、地区対抗、町全体。 ●納涼祭、町民祭、なくしとうない。 ●地区放送充実 ●泳ぎたくはない。 ●アクティビティが盛んやと人も多く来るろうけど… (釣りの人にはまた違う影響も)

●プロジェクションマッピングしたらよい。(神社) ●コロナもあっておまつりをやる事に心配もある。 ●ぼんぼり(中島の公園)がきれいやった。春町民お花見。

●出店もついろいろな店(てづくり市に来ている人とか)も出せるようになったらえい。 ●秋-運動会、春-お花見(イベントとして)集まる。 ●子どもたのしい。 ●冬-イベント、みんなが集まれるような。 ●お酒のんだり+防災、夏-おまつり ●十七夜をベースにもっと人がくるおまつりに。 ●十七夜行くまで真っ暗でさみしい。そこも提灯あったりお店があったらえい。

●やまびこカーニバルの次の日にスポーツ大会やりよったのがよかった。 ●ダム周辺(広場)昔イベントやった事がある(冬)大人になっても覚えちゆう。 ●ウィンターカーニバル、過去に開催した 運営などの体制むずかしかった ●リアルトミカ博ダムから見る。実際の車を遠くからみて楽しむ。いろんな重機、はたらく車を見る。 ●乗車体験!トミカも協賛してくれたらもっという。トヨタやホンダも。

●うまい具合に本気で結ばれたい男女などが出逢えるイベントがあるといいと思う。 ●草食でなく肉食男子も大切。そんなイベント(出逢い)がやれたら楽しいと思う。 ●統一してイルミネーション飾りつけ。ダムの桜並木、食事できるイベント。人が出会うイベント。 ●寛容性 ●集うところ増えてほしい。

●冬の食べもの ●実は文化的なお土地柄であることを利用していく。 ●新たな事に挑戦できる町 ●図書館の維持。 ●人生に彩りを ●本から生まれる土佐町人 ●みんなの図書館 ●係の方が静かでいろいろ聞きづらい。話しかけづらい。カードを作りにくい。 ●図書館に人が自然と集える施設を考えては。歩いていても見える図書館にしてほしい。「読書の町宣言」を誇れる環境をつくりたい。

●図書館の地下へまた入れるように。使っていないのがもったいない!メルヘンな空間やのに…なんで使わんがやろうか。 ●中学生・高校生・大人がおちついて勉強できるスペースがほしい。私は中学生の時一番利用しました。 ●人間力・共感創造力 ●いままでの文化に新しい価値を加える ●図書館があんまり身近やない。 ●文化が人間性を高めて豊かな町になっていく。 ●文化芸術を生活の中に ●文化・芸術・本

●図書館に関しては、土佐町は読書のまち宣言をしているが読書のまちと思っただことがない。利用率や図書館に入れる財源はどうだろう。図書館のことについてもりこんでくれるとありがたい。 ●図書館に人が自然と集える施設を考えては。歩いていても見える図書館にしてほしい。「読書の町宣言」を誇れる環境をつくりたい。

●図書館に人は自然と集える施設を考えては。歩いていても見える図書館にしてほしい。「読書の町宣言」を誇れる環境をつくりたい。 ●図書館があんまり身近やない。 ●文化が人間性を高めて豊かな町になっていく。 ●文化芸術を生活の中に ●文化・芸術・本

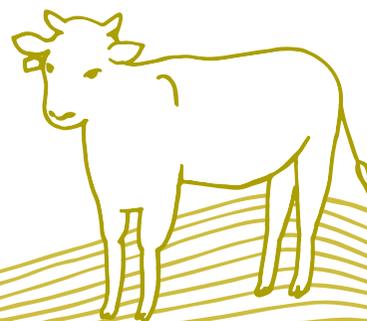
●図書館に関しては、土佐町は読書のまち宣言をしているが読書のまちと思っただことがない。利用率や図書館に入れる財源はどうだろう。図書館のことについてもりこんでくれるとありがたい。 ●図書館に人が自然と集える施設を考えては。歩いていても見える図書館にしてほしい。「読書の町宣言」を誇れる環境をつくりたい。

●図書館に人は自然と集える施設を考えては。歩いていても見える図書館にしてほしい。「読書の町宣言」を誇れる環境をつくりたい。 ●図書館があんまり身近やない。 ●文化が人間性を高めて豊かな町になっていく。 ●文化芸術を生活の中に ●文化・芸術・本

## 自然環境と農畜林業

自然を大切に活かすことで、豊かな川や山を育む。  
自然を守るだけでなく、それを上手に活用し、  
ひとりひとりが望む稼ぎを得られるような、新しいかたちの  
農畜林業をつくる。

豊かな自然、そして自然を活かした第1次産業は土佐町の大切な資源です。  
従事者の高齢化や担い手不足、決して広くはない耕地面積、急峻な地形など課題も多くありますが、新しい技術も取り入れながら、「農ある暮らし」「緑ある暮らし」を大事に、  
小さくても頑張れる、生業の一つとして続けられる農畜林業をつくっていきます。



# Life on Land



# 2030年の土佐町の「自然環境と農畜林業」にむけて 地域のみなさんの声

●自然豊かな土佐町を取り戻す！現状のスギ林から里山化して、地域をもりあげてほしい。(自然体験・交流・生業が持てればよい) ●水源地であることの再確認

●川にどっさり魚がおる。 ●瀬戸川や地蔵寺川の水源地が保てる山が生きてほしい。 ●土佐町の未来、自然を大切にしてほしい。山、川、道の整備。 ●自然・文化、いつまでも誇れる自然の美しさ⇒子供に教えていきたい、祭りごと受け継いでいける

●後継者教育 ●自然。陳ヶ森の見張らし台周辺の継続的整備 ●自然を活かす

●地域にはそれぞれの歴史がある。歴史を大切にしもって自然環境を守り活性化する

●緑が多い町(自然が豊かなわけじゃないような…) ●人と自然が共存している土佐町(山が手入れされ、川がきれいに保たれている、人が自然をめでている)

●自然林に返せたら…

●石原地区は草刈りなどで町内でも雑草に関してはきれいです。この状態が続きますように。

●草刈りは大切。それを一つの職業として成立させてはどうだろう。高給で。 ●自然。町道の道草刈り。今は地元民がやりゆうけんど 10 年後は労働力がないなるので今後方向性を考えて欲しい。

●農業に魅力がない。土佐町に目玉の特産品を!!成功している馬路村を見習って!!

●「第1次産業」とかじゃのうて、田舎(地方)ならではの“仕事”を確立する。 ●商品開発。いたどりラー油 ●自然を生かした学習 ●新しい農業のあり方

●あかうしアイス。一回だけ食べるアイス

●畑があればえいってもんじゃあない。

●IT 農業 ●共同農場 ●農業をとおしたコミュニティ ●農地の維持心配 ●環境維持と公共事業化 ●水でいきる農畜林業。 ●集落営農的な農業をするための事業化と補助を。各戸で田植えからもみすりまで機械を持ちゆうけんど、10 戸とかくらいで協同機械(保管)場所を用意する補助事業がほしい。 ●野菜の価格競争が農業者の間で激化。共倒れしゆう。→一定のルール、基準を町が指導すべき。 ●空家・耕作放棄地を無くすように一次産業を盛り上げてほしい ●農、畜、林業で生活できる飯の食える町に支援策の充実 ●農林業で生活できるような体制づくり ●町内の農業自給率を上げる(町内で経済を回す) ●自然を生かした里山づくり。観光・体験へつなげていく。 ●地域地域が 10 年を目標にした環境づくり。花、花卉の植栽等 ●自然と共存した生活 ●さめうら荘、ダムサイドに花木の森を作り、四季折々の花を楽しめる。観光にも役立つ。 ●ころろ広場の周囲にプラタナスみたいな落葉樹を植えてほしい。 ●生活文化と自然の共存共生 ●森林・木が成長して影が広がっている。冬が寒い。→対策を!! 伐採の相談をしているが進まん。 ●土佐町には木材がふんだんに恵まれているのにそれを専門に活用する方法等を考える林業課のような課がないのが不思議です ●林業関係で生活できるような仕組みづくり(移住者の人も)

●1 ヶ月〇円とかのレンタル畑があったらちょっとでも自給自足になるがやないろうか。

●需要と供給のバランスが合わん。生産者は「高く売りたい」消費者は「安く買いたい」結局安く売らんと収入がない!農業では生活ができなくなる。作る事を応援する仕組みはないろうか? ●鳥獣害をなくすには豊かな森林づくりが必要やないろうか。空き家周辺や耕作放棄地はいのしし等の隠れ家になっちゆう。鳥獣害は高齢者のいきがいそぐ。 ●半農半Xという言葉が使われゆう。土佐町なんかの地域に当てはまる。ひとりひとりが稼ぐ農畜林業がまさにそうやと思う。農村に目を向けちゆう人が多いき、農村に移住して欲しいとおもうけんど、移住した人は結局農業から離れゆう気がする。農業だけで生活は難しい。ちょっと農業をしもって、都会の能力を活かして、自然にも関わりもって生活できる。農畜林業ができることをアピールしたらえい。 ●都会から草刈りを体験してもらえん。草刈りはちょっと練習したらできる。地域の見え目が変わるき田んぼを作ろうとなる。 ●草刈りは本当に必要な取組やと思う。ビジネスチャンスになると思う。企業が来て夏場だけの仕事になる。あとは冬場の仕事をみつけてくること。田舎仕事コーディネーターなど、課題をビジネスに変えていけるような発想を行政施策として仕掛けていけるとえいなと思った。 ●山を活かせたらえいがやないろうか。 ●自然は多いが公園(みんなが picnic 等できるような)がない ●早明浦湖の周りの森林整備で自然アピール

●1 ヶ月〇円とかのレンタル畑があったらちょっとでも自給自足になるがやないろうか。

●需要と供給のバランスが合わん。生産者は「高く売りたい」消費者は「安く買いたい」結局安く売らんと収入がない!農業では生活ができなくなる。作る事を応援する仕組みはないろうか? ●鳥獣害をなくすには豊かな森林づくりが必要やないろうか。空き家周辺や耕作放棄地はいのしし等の隠れ家になっちゆう。鳥獣害は高齢者のいきがいそぐ。 ●半農半Xという言葉が使われゆう。土佐町なんかの地域に当てはまる。ひとりひとりが稼ぐ農畜林業がまさにそうやと思う。農村に目を向けちゆう人が多いき、農村に移住して欲しいとおもうけんど、移住した人は結局農業から離れゆう気がする。農業だけで生活は難しい。ちょっと農業をしもって、都会の能力を活かして、自然にも関わりもって生活できる。農畜林業ができることをアピールしたらえい。 ●都会から草刈りを体験してもらえん。草刈りはちょっと練習したらできる。地域の見え目が変わるき田んぼを作ろうとなる。 ●草刈りは本当に必要な取組やと思う。ビジネスチャンスになると思う。企業が来て夏場だけの仕事になる。あとは冬場の仕事をみつけてくること。田舎仕事コーディネーターなど、課題をビジネスに変えていけるような発想を行政施策として仕掛けていけるとえいなと思った。 ●山を活かせたらえいがやないろうか。 ●自然は多いが公園(みんなが picnic 等できるような)がない ●早明浦湖の周りの森林整備で自然アピール

●1 ヶ月〇円とかのレンタル畑があったらちょっとでも自給自足になるがやないろうか。

●需要と供給のバランスが合わん。生産者は「高く売りたい」消費者は「安く買いたい」結局安く売らんと収入がない!農業では生活ができなくなる。作る事を応援する仕組みはないろうか? ●鳥獣害をなくすには豊かな森林づくりが必要やないろうか。空き家周辺や耕作放棄地はいのしし等の隠れ家になっちゆう。鳥獣害は高齢者のいきがいそぐ。 ●半農半Xという言葉が使われゆう。土佐町なんかの地域に当てはまる。ひとりひとりが稼ぐ農畜林業がまさにそうやと思う。農村に目を向けちゆう人が多いき、農村に移住して欲しいとおもうけんど、移住した人は結局農業から離れゆう気がする。農業だけで生活は難しい。ちょっと農業をしもって、都会の能力を活かして、自然にも関わりもって生活できる。農畜林業ができることをアピールしたらえい。 ●都会から草刈りを体験してもらえん。草刈りはちょっと練習したらできる。地域の見え目が変わるき田んぼを作ろうとなる。 ●草刈りは本当に必要な取組やと思う。ビジネスチャンスになると思う。企業が来て夏場だけの仕事になる。あとは冬場の仕事をみつけてくること。田舎仕事コーディネーターなど、課題をビジネスに変えていけるような発想を行政施策として仕掛けていけるとえいなと思った。 ●山を活かせたらえいがやないろうか。 ●自然は多いが公園(みんなが picnic 等できるような)がない ●早明浦湖の周りの森林整備で自然アピール

●1 ヶ月〇円とかのレンタル畑があったらちょっとでも自給自足になるがやないろうか。

●需要と供給のバランスが合わん。生産者は「高く売りたい」消費者は「安く買いたい」結局安く売らんと収入がない!農業では生活ができなくなる。作る事を応援する仕組みはないろうか? ●鳥獣害をなくすには豊かな森林づくりが必要やないろうか。空き家周辺や耕作放棄地はいのしし等の隠れ家になっちゆう。鳥獣害は高齢者のいきがいそぐ。 ●半農半Xという言葉が使われゆう。土佐町なんかの地域に当てはまる。ひとりひとりが稼ぐ農畜林業がまさにそうやと思う。農村に目を向けちゆう人が多いき、農村に移住して欲しいとおもうけんど、移住した人は結局農業から離れゆう気がする。農業だけで生活は難しい。ちょっと農業をしもって、都会の能力を活かして、自然にも関わりもって生活できる。農畜林業ができることをアピールしたらえい。 ●都会から草刈りを体験してもらえん。草刈りはちょっと練習したらできる。地域の見え目が変わるき田んぼを作ろうとなる。 ●草刈りは本当に必要な取組やと思う。ビジネスチャンスになると思う。企業が来て夏場だけの仕事になる。あとは冬場の仕事をみつけてくること。田舎仕事コーディネーターなど、課題をビジネスに変えていけるような発想を行政施策として仕掛けていけるとえいなと思った。 ●山を活かせたらえいがやないろうか。 ●自然は多いが公園(みんなが picnic 等できるような)がない ●早明浦湖の周りの森林整備で自然アピール

●1 ヶ月〇円とかのレンタル畑があったらちょっとでも自給自足になるがやないろうか。

●需要と供給のバランスが合わん。生産者は「高く売りたい」消費者は「安く買いたい」結局安く売らんと収入がない!農業では生活ができなくなる。作る事を応援する仕組みはないろうか? ●鳥獣害をなくすには豊かな森林づくりが必要やないろうか。空き家周辺や耕作放棄地はいのしし等の隠れ家になっちゆう。鳥獣害は高齢者のいきがいそぐ。 ●半農半Xという言葉が使われゆう。土佐町なんかの地域に当てはまる。ひとりひとりが稼ぐ農畜林業がまさにそうやと思う。農村に目を向けちゆう人が多いき、農村に移住して欲しいとおもうけんど、移住した人は結局農業から離れゆう気がする。農業だけで生活は難しい。ちょっと農業をしもって、都会の能力を活かして、自然にも関わりもって生活できる。農畜林業ができることをアピールしたらえい。 ●都会から草刈りを体験してもらえん。草刈りはちょっと練習したらできる。地域の見え目が変わるき田んぼを作ろうとなる。 ●草刈りは本当に必要な取組やと思う。ビジネスチャンスになると思う。企業が来て夏場だけの仕事になる。あとは冬場の仕事をみつけてくること。田舎仕事コーディネーターなど、課題をビジネスに変えていけるような発想を行政施策として仕掛けていけるとえいなと思った。 ●山を活かせたらえいがやないろうか。 ●自然は多いが公園(みんなが picnic 等できるような)がない ●早明浦湖の周りの森林整備で自然アピール

## 仕事・産業

新しいチャレンジを町民全員で応援できるまち。  
何かを始める時のハードルを乗り越えやすくする仕組みをつくり、  
若い世代にとって魅力的な働く場所と雇用をつくりだす。

地域に新しい産業を生み出す。小さな町で何か新しいことを始めるのはいろいろな苦勞も伴います。「何かやりたい」と思ったときにプレッシャーをかけるのではなく、町民全体でそれを応援できる町。町民のやりたいことを町民が出資して応援する町。それらを通じて、魅力的な産業や雇用がある町にしていきます。



# Decent Work and Industry

## 2030年の土佐町の「仕事と産業」にむけて 地域のみなさんの声

### ●若者が働ける場所。給料が良くならんといかん!!

●勤める場所 ●沢山の人が雇える企業 ●仕事・産業雇用の増加 ●仕事大きな企業を誘致する、雇用が増えるように ●地域産業が、せめて今の状態をキープできていたらえいと思う。 ●ネット環境とテレワークの人の短期住居整備。 ●若い人の仕事がほしい。

●水とともに生きると掲げるのならば水資源機構と連携し雇用創出すべき ●好きな事を仕事に

●町内で循環する経済をすすめる ●在宅ワークの人の移住支援 ●子ができる子が増える産業 ●労働力 ●Here comes a new challenge (ストII) ●資金調達

●遊休地を有効利用 ●世界の流れにのっていく ●希少性を力にできる ●ダムがどう影響するか ●ダム工事。お弁当屋さん作ったらもうける

●かわりにやってくれる人ネット商売 ●土佐町版マネーの虎 ●自然から学ぶ産業

●精がつく専門店 ●バイオ発電の町。 ●不動産業の確立 ●新幹線田井駅

●観光協会は本気で人口倍増 ●早明浦ダムの有効活用(官民共存で) ●心安らげる場所が欲しい・ショッピングセンター・喫茶店 ●夜が活気づいてほしい。(酒)

●太陽光パネルを設置して売り上げを還元するのがえい。→土佐町のエネルギー産業にできんろうか ●木質バイオマスを活用! (プールとか、健康増進対策)

### ●昔はお店(文具やお菓子)が多かったのに駄菓子屋さんがない。

●町立葬儀屋。100歳割引とか。 ●本屋さんがあったらえい。

●給油所~高知銀行 生活するのに必要なもの。 ●集合農園作る(だれでも農園参加)土地(公的)。 ●空き家の中の整理等の仕事 ●空地の有効活用(民にも情報を)

●水が仕事になる ●小規模の公共工事等の発注をして、地元への税込還元を。例:道路の維持管理、水路はコンクリート護岸ではなく、自然と調和する護岸にし、メンテナンスを小さく発注する。 ●出会いの場にもなる簡易宿泊休憩所をつくりたい(土佐町立)

●土佐町プレミアム商品券をモデルケースとして、全国に発信したらどうやる?(かなりよかった) ●土佐町発信 YouTube チャンネル。

●ユーチューバー ●仕事・産業大学キャンパスの誘致し第1次産業を教えたり新しい産業も設立。キャンパスができることで若者が増え、シェアハウスの運営や食堂なども活用でき、新たな発展につながる。

●電話注文できる店ができて、配達してほしい。 ●自営業したいという高校生。起業ができるまちづくりを。

●花も咲いて榎山トンネルも通ったら、そこでみんなが産業を持ち、生計を立てていけるような未来を。 ●働ける場があって生活できれば、土佐町に帰ってきたい人が沢山あります。町外の流出について、建設業については、地元の職人が育たん状況にある。町外から建設業が入って仕事をする状況ができちゅう。高校生中学生も地域の仕事の環境をみせていくことが必要。 ●修行するのに補助をしてくれるような補助出資があったらえい。修行してきて、地元に戻ってきて仕事してくれるのがやったら返す必要ないという仕組み。働き出したらすぐ収入も必要、結婚してすぐ生活せんといかん若い子に、そんな訓練しやすい環境をつくってくれたらえいと思う。 ●高知県は林業大学校ができて、学校で林業を覚えるスタイルができてきた。そこの就職説明会では雇用の待遇が掲示され、「有給が望んでとれるのか」、「住宅があるのか」、「ボーナスがあるのか」で、横並びでみられて、就職候補からはじかれる経験をしゅう。また、実際にきてもらうても、また続くかは別の問題。ずっとお客さん扱ひできるわけやない。ここ7~8年は新規の方を入れる仕事もしてきたが、全然解決できない状況。 ●いくら地域に魅力があっても入口の労働条件でふるいに落とされてしまう状況。就職仕事の情報について、土佐町の求人が伝わってこない。

## 愛（地域愛）

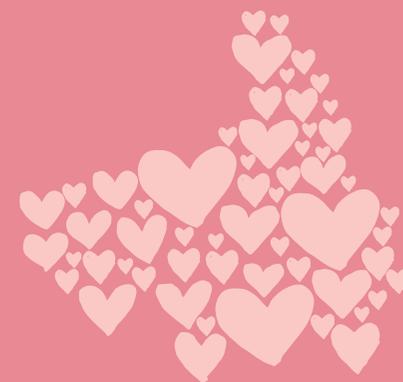
子どもたちが心から「土佐町が好き」と言える町。  
世界に羽ばたいた子どもたちが「帰ってきたい」と思える町。  
そのためには、大人たちが心から土佐町を愛していること。

土佐町で生まれた子どもたち、土佐町で育つ子どもたちが、心から「好き」と言える土佐町にしたい。

進学や就職で町外に羽ばたいても、いつか「住みたい」「帰ってきたい」そう思える土佐町にしたい。

そのために最初にできることは、土佐町で暮らす大人ひとりひとりが土佐町を好きと言えること。

LOVE  
and  
community



## 2030年の土佐町の「愛（地域愛）」にむけて 地域のみなさんの声

### ●生きちょっと良かった!!こんなに楽しいなんて!

●今を楽しむ ●家におつたら絶対さわる。することないき。 ●子・孫がここに住みたいと思える町、帰ってきたいと思える町、お互いに思いやりの心がもてる町

●子どもから老人が生活できる地域であること。

●仕事があり生活でき、子どもを育てられる地域

●高校生まで地元で通える ●年がいても家で暮らせられる支援体制 ●うら年。アップダウン ●ゆとりのある町 ●パートナーが見つかる ●愛こそ全て

●子供たちが見る大人が土佐町のことを好きにならないと、子供たちが土佐町を好きにならない

●大人がまず姿を見せる ●地域全体で地域を愛でる ●ふるさとを誇りに見えるまちづくり

●郷土愛を育む取り組み

●郷土愛はウソくさい

●地域でしていることを見せるかしていく ●土佐町が好きといえる雰囲気づくり

●帰ってきて家を建てたいのに土地がない!アパートがない!

●「土佐町に帰ってきたい」だけなのにまず住む場所がない。 ●総合企業をつくる

●外に出ることが好きなので、県外にも海外にも行く。一週間に3回東京へも行く。土佐町にいるから制約されるものではなく、いろんなこと自由にできる。もっと発信してもらいたい。おいしい物を食べて自然環境が良い中で世界の仕事ができる。世界の子どもたちが帰ってきたいまち。子育てするときの拠点はここだな。また老後自分の終活となる町というところが地域愛なのではないかなと思う。 ●地域の良さは外から見て初めて気づくことも多い。若いうちに一度は地域から離れることも良いのではないかな。必要以上に地域で困る必要はない。

●地域愛を知る、感じるためには、地域外を知るべき。若いうちに一度は、地域を離れるのも良い。

●みんながおいしい物が食べられて、幸せな気分自然を眺められて。

●町民が町の自然の良さに気づき、自然を楽しむ人が増えてほしい。

### ●子どもたちが増え、町を愛する子に成長してほしい。

### ●地域にいる大人が地域を愛する

### ●うそくさくない郷土愛

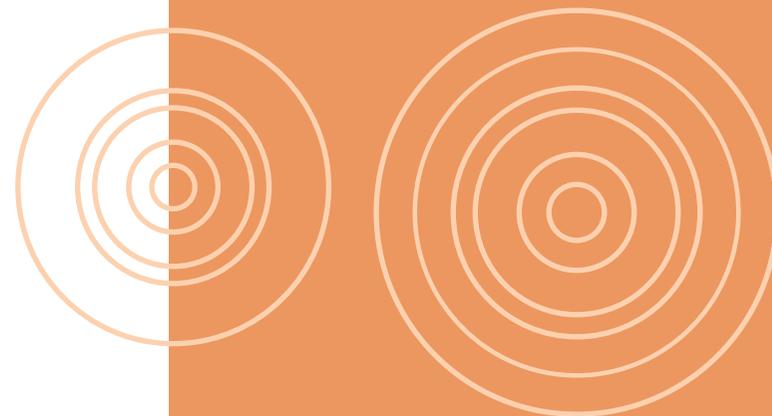
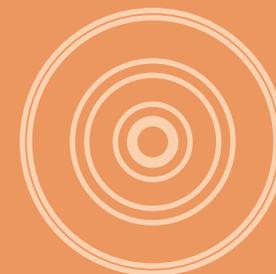
### ●あなたの自慢何ですか?

## 繋がり

交流や集いの機会を大事にしながら、ひとりひとりの立場も尊重することができる。様々な人が暮らしている町だからこそ、その多様性をまちづくりの力に。

若い世代とシニア世代。土佐町で生まれ育った人と土佐町へ移住してきた人。以前と比べても、世代や背景が異なる色々な人々が暮らしているのが今の土佐町です。昔から続いてきた土佐町の文化はもちろん大事にしながら、一方で、新しく入ってきた人とも交流していくことができる。そうした集いの機会を増やしていきます。

## Relationships



## 2030年の土佐町の「繋がり」にむけて 地域のみなさんの声

### ●地区内で顔を合わせると挨拶する関係（皆顔見知りな関係）はずっとあってほしい

●地域の中で年代を問わず交流する場を多くつくる（酒が入ってもよし、話し合いでもよし） ●みんながみんなお酒好きではない。 ●Hand in Hand なまちづくり

●意見の合わん人も話ができる場をつくる。 ●地域の連携、地域同士の連携を深める。 ●血液のような「誰1人取りこぼさない」 ●調整を認めるつながり

●意見尊重しすぎ。なじむ、溶け込む努力を。移住者も。 ●移住者同士で固まらないように。

●移住者の人々が引き続き来てくれる環境があれば…今の移住者との交流を深める

### ●移住者が生計を立てれるように

●移住者にも地域の事を守ってもらいたい！くずさずに！ ●移住者と繋がる場が必要。また、移住者が移住者どうして固まらないことも大切。 ●トンネル抜けたら。

●地域住民と移住者の心が触れあう場づくり ●つながり・交流。とにかく空き家を増やすこと、人が住める環境ができれば、移住が増え、新たな産業等も増える。

●それぞれの世代が役割と生きがいのもてる町に。 ●自分のやりたいことをやり易い町 ●地藏寺の駐在さんのような方が続いてくれますように！

●繋がり。移住者との交流の場を設ける。区長などからの地域へのお知らせなどがあると住民も親しみを感じる。 ●転出者が少なく、転入者が増えて欲しい

### ●大人の社交場が必要。いろんな世代の。 ●様々な世代がつながる、まちづくりを支える地域・コミュニティになりたい。

●地域に少人数でも集えてくつろげる場があってほしい。 ●ふらりと立ち寄ってのんびりできるカフェ、喫茶店のような場所。 ●ゆったりできる図書館がほしい。

●気軽に出かけられる食堂があると良い。 ●人の目を気にしなくてよい場所が欲しい（ひとりになれる場所も欲しい）。 ●常設のギャラリーがほしい。

●若い世代とシニア世代の交流、相互理解が大切

●お年寄りの集まれる場所を ●敬老会

### ●老人が気軽に食事できるところがあったらえいと思う。

●お年寄りの生きがいづくり ●生きがいへの補助をしっかりと。 ●入院している人の家・庭の手入れ ●今を楽しむ

### ●まちはひとつの家族。みんなが仲良く助け合い支え合うまちに

●今までよりもっと、移住者と地元で長年住む方が協力していくことは大切。 ●情報をきちんと伝えること ●知らなかった、というのがないように ●どなたがど

のお家の方が全くわからない状態。若い方を見かけても「だれだろう？」ってなる。 ●広報を充実しなければ、みんなが知る事ができない。小さな事を、対外的にも、

観光とかにも ●世代交流で、社協の「あったかふれあいセンター」をやっているが、5年前くらいは、0歳から90何歳が集うような場所をつくって今独立した。社協

さんの取組は素晴らしかった。「あの人だれぞよ」って言ったときには、知って

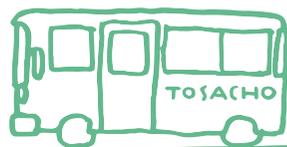
いる人が説明するとその人も安心する。一緒にお茶菓子食べる機会。楽しいと思う。

### ●10年後もこんな会で話をしたい。

## 安心安全な暮らし

生涯を通じて、ひとりひとりが生きがいを持ち、  
みんなで支え合いながら、安心して暮らし続けることができるまち。  
道路や上下水道、インターネットなど、必要なインフラを維持し、  
災害にも強い安全なまち。

土佐町で暮らし続けていく上で、地域内に十分な医療・福祉サービスが受けられること、  
必要なインフラが整っていることは重要です。また、地球温暖化や気候変動などにより、  
想定される災害の形も従来とは変わってきています。自助・共助・公助それぞれを充実  
させていきながら、住民ひとりひとりが安全安心に暮らすことができる町をつくれます。



# Well-Being and Resilience

## 2030年の土佐町の「安心安全な暮らし」にむけて 地域のみなさんの声

- 災害に強い土佐町。 ●安全（災害）。 ●定期的に停電するとか ●誰もが安心して安全に暮らせるまちに ●安心安全に住む場所。 ●安心して暮らせる。 過ぎしやすい ●保育園のセキュリティ ●Face to Face なまちづくり ●気がねなく介護サービスなど社会資源の利用ができよう。 ●福祉の町づくり。 安心して自宅で死ねる医療体制の整った町に住みたい
- 防災士を…頼って下さいませ。** ●東南海・南海トラフ&首都直下型地震は、起きているかももうすぐ起こる。 ●もし南海トラフが起きていなかったら、地域の避難計画を新しくすべき。
- 総合病院が充実し、市内等に行かなくてもえいようになっ**ていてほしい ●小児科、小児歯科ほしい ●耳鼻科毎日ほしい。
- 耳鼻科が欲しい。 赤ちゃんの中耳炎はしょっちゅうあること。 半日休みとって毎日いかんといかんなる。 医療も手厚くしてほしい。 ●地域医療のサポート。
- 年寄りが安心して死ねる環境。 ●医療機関充実を ●**私はこの地域で子育てしてたい。（病気と付き合いながら）**
- 地域でお互いのことを見守れる ●高齢者の見守り。
- 各家にタブレット端末が貸付されていてほしい。 情報化対応、地域内の連絡コミュニケーション、防災時利用など ●小さな労力で大きな効果を（新しい技術の導入）
- フィールド医学の充実で高齢者が元気に。 ●健全なチャンスをつくらないかん。 ●町が運営する水道に切り替えてほしい。（高齢者が多くなって、地元管理が難しくなってきた） ●水道工事に対応できる業者さんがわずか ●せめて地域のライフライン（水・道・橋）などは維持。 直して使うていく。 ●外灯を増やしてほしい
- 公共施設に、Free Wi-fi があると便利** ●携帯電話の不感知がなくなる様に。 ●ライフラインを守る！（インフラ維持管理） ●基盤整備四国の中の土佐町 ●買い物はドローンで出来るように。
- 散歩コースにちょっと休めるイスがあったらうれしい！ ●歩道に屋根がほしい。（所々） ●カラスが多い。 対策をしてほしい ●町民全員が暮らすまちづくり
- アップダウンを乗りこなす安心安全 ●高須地区の街並みすべてが部分改良されて、老後になっても安全に車の運転が出来たら良いと思う。 ●タクシー8時まで？
- お年寄りの行き場がなくなる？ ●**ワンコインで町内を回ってくれるバスがあれば（小さな）。**
- 乗り合いタクシー的なほしい。
- 車の運転をやめた後の移動手段が整うちゅう。 ●自転車の人多くなって運転こわい。 自転車ゾーンあれば ●高須町道を全線改良すべし。 ●椋山トンネル開通。
- バス停に屋根がほしい。 ●アクセスよい。 ●高齢でもアルバイト的に働ける場所がある（シルバー人材センター含む） ●生きがいがある（趣味を持てる）
- 移動手段がある（四国新幹線も含む） ●買い物に困らん（店舗の維持） ●高齢者が何でもえいき活躍できるものがある ●災害に強いまち ●森林がきれい
- まず自分のことは自分で守るという意識が高い（自分の家のことはまず自分で） ●**孤独死のようなことが絶対ないように。**
- 高齢者も安心して住めるまち ●施設、人員的に十分な介護が受けられる体制がある
- 山の中のポツンと一軒家は老後生活できん。 ●各家庭及び避難場所も含めしつかりとした備蓄体制がとれちゅう ●農業の維持（国土保全や食料自給率の維持）
- ライフラインは重要。 特にお店。 車でぱっと市内へ買い物することもあるが、土佐町で頑張っている店は沢山あり、そこを維持することで安心して暮らせる人もいる。 さらにこれから人が減っていく。 商売の相手が減ってくる中でしんどくなる。 地域にある小さなお店について、末広もないと困る。 戦略的に行政で考えてほしい。
- 他地域に先駆けて「自動運転」に積極的に取り組んでほしい。 土佐町限定や嶺北地域限定の特区的な取り組みをつくることで、買い物難民対策にもなる。

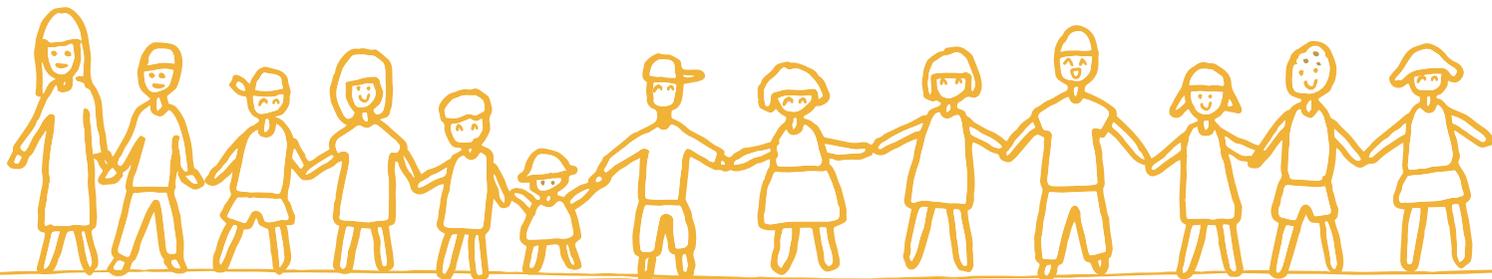
## 人口減少

# Population

ひとが増えるまち。

若者が増え、子どもたちが増えるまち。

土佐町の 2030 年人口推計は約 3,000 人。日本全体の人口が減っていくのと同様に、土佐町の人口も減っていくことが予想されています。しかし、たとえそうであったとしても「ひとが増えていく」ということにこだわりたい。子どもがたくさん生まれ、若者が帰ってきたいと思える町を実現していきます。



## 2030年の土佐町の「人口減少」にむけて 地域のみなさんの声

### ●今の人口をキープ。

- 若者がたくさんいる地区で。 ●若者・子どもの多い地区。 ●若い人ふえてもらいたい。 ●子どもが少ない ●増えてほしい(人口) ●若者がふえてほしい。
- 人口が良くて2,000人台では。 ●いまより人口増であってほしい ●少子高齢化がもっと進む。

- 若い人は、何があったら土佐町にずっと住んでくれるろう? ●人口が増えるために、何をせないかんか。 ●子どもが帰ってきてほしい。
- 土佐町に老人を呼ぶ。若者の。 ●移住者が増えたらえいけんど、定着が難しい。理由:仕事がない。 ●耕作放棄地を移住者に作らせる。仕事になる。
- 子どもたちが増え、町を愛する子に成長してほしい。 ●人口が増えて欲しい!動物と触れ合う場所を増やして欲しい! ●移住者が増えても空き家の確保が難しい
- 高齢者と子どもたちの交流できる場があったらいい。 ●地元に関わる活動に参加しよったら、愛着もわく? ●限界集落みたいになる。 ●移住者に頼る。

### ●一度来たら土佐町を好きになる(リピーター)は多い

- 移住者が増え、また住民の子・孫が帰ってきたい様な町になってほしい。 ●移住者が来ようかどうかあまり分からん…(消防などで会う機会があれば分かるが…)
- 移住してきてどこに何があるかわからん ●移住者がすぐ出て行ってしまうような政策ではいかん。 ●過疎化対策過疎化が進み対策が進んでいる所の対策を参考にす。 (町職員が視察に行かないかんがやない?) ●若い家庭に魅力的な町づくり ●医療費、学費免除(子ども)なのは◎ ●家が少ない。移住したいのに…
- 受け入れ態勢充実 ●とにかくまず住居と土地を!直ぐ簡単に入居できる家。 ●使われてない家をリフォームして住めるように… ●転入を増やすのが大切なことが、

- コロナでリモートでも仕事できる。
- パソコンがあったら仕事できる時代。
- 都会の生活で疲れた人が増える。

### ●全体的な職場の給料UP

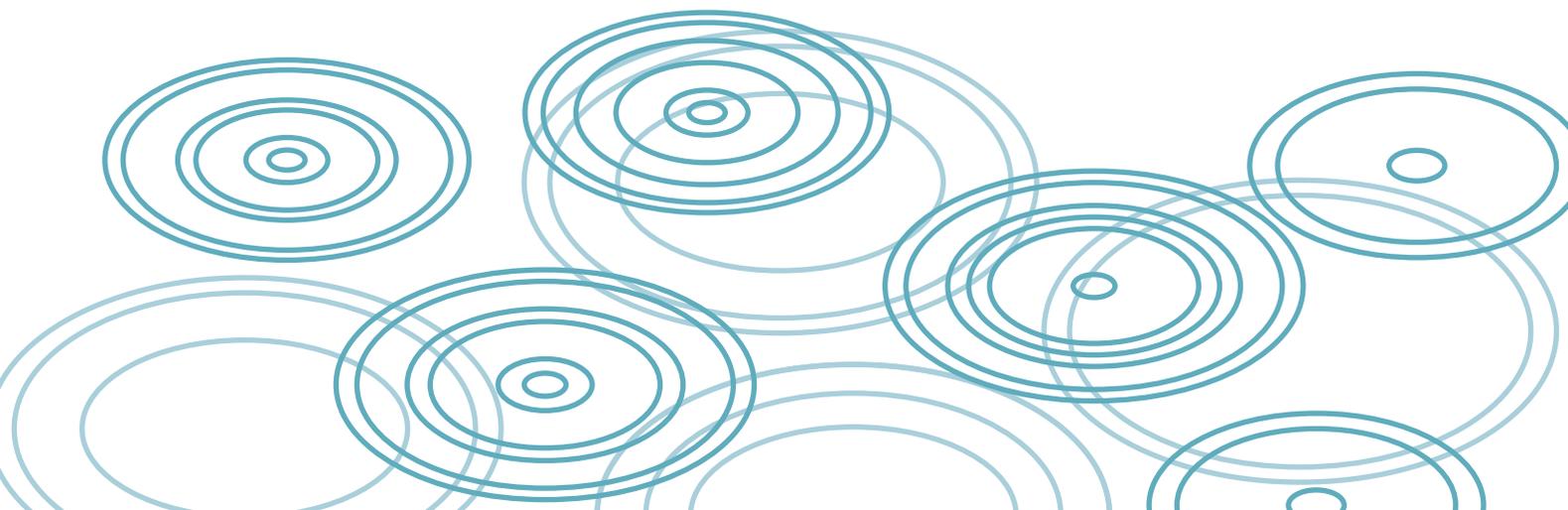
- 人が一番多い地区。世代間の交流は大切やと思う。
- 消防団員の不足(若い人)、地域の代表者として位置づけたら、やりがいになるがやないろうか。 ●トンネルも開通し、市内に通う、通うて来る人もおる、川之江にもアクセスできる、他所へ出ても住みやすい町にして行けるがやないかと思う。 ●大学から帰ってきてアパートがない。親と住めん。一人暮らし、気軽に入れる单身アパートがない。とりあえず帰ってきてすんでもらえるものが必要。

### ●多様な人々で構成され、すべての人々が生き生きと暮らせる土佐町

## その他（行財政）

町民と役場が一体で協働する開かれたまちづくりを推進し、職員ひとりひとりが地域に溶け込み、主体的に地域の課題解決に取り組む職員を育てていく。

社会の先行きが見通しにくい現代。10年先を見据えた健全な財政運営を基本としながら、一方で、新しい施策にも積極的に取り組むことも必要ともなっています。地域を愛し、地域が直面している様々な課題の解決に柔軟に取り組んでいくことができる。そのような職員を増やしていくための人材育成を積極的に進めていきます。



## 2030年の土佐町の「その他（行財政）」にむけて 地域のみなさんの声

●職員の土佐町への課題への意識が低い。ワークショップを開くなら、町からの提案もあるべきでは？  
(こういう土佐町にしたらどうか等) ●後輩が上司を評価する制度を導入しては？

●職員が地域に透け込んでない

●要望しても職員が動かん。住民の要望に対応する課やチームの編成を行うべき ●職員教育を徹底せよ!! パワハラが職員間であるがやないろうか ●職員以外の住民が職員を評価する制度を導入して!! ●虫送りに職員として参加するがやったら、伝統行事を盛り上げるような働きをしてほしい。(ただ座っているだけやのうて)

●昔は役場のお兄さんに学校で遊んでもらうた。 ●お忙しいでしょうが、とりあえず庁舎に入ったら声かけてほしい。 ●絵本読んでずっと帰ってしまうのはさみしい…。 ●子どもを知つちよったら地区のイベントにも職員の方も入ってきやすいかやない? ●コロナもあっておまつりをやる事に心配もある。 ●10年後に備えて何を準備しちよくか、考えるべき。

●コロナは精神的な負担。一緒にご飯食べたり、飲んだりできん。入院しても家族に会えん。→自殺者増加。 ●きっと田舎の良さがコロナをきっかけに理解される→強み ●コロナ患者増えゆう。GOTO トラベル GOTO イートの影響→経済を止める訳にもいかん… 難しい。 ●若い人はPCR 検査を受けん。検査料(3万円~)が高い→補助金を!! ●いずれは土佐町にもコロナが入ってくる。→病院関係の連携ができゆうろうか ●ジェンダーの問題。夫の飲酒禁止、家でおるように。 ●住環境いる

●長期入院で家が荒れる ●住宅施策 ●椋山トンネル。ベッドタウン ●町営住宅で不在者の家の管理 ●空き家はあるけど、借家はない。 ●独身住宅ほしい。 ●空き家を買って、別荘として売る ●町外者でも土佐町に家を建てたい人はおる! ●家が少ない。移住したいけど… ●町内に不要な建物とか、利用率の低い物について、適切な方法をしていただけたら。 ●各地区の公民館・体育館、住民が安く借りれることが知られていない! もったいない! 少しやけど町の収入にもなると思う。借り方、料金表を住民にもっと知らせて! 調理室とか借りたい人いっぱいおる。

●土佐町はすべての分野に対して対応できる、施設や仕組みはあると思う。

町民のPR方法を考えて伝えていったら、地域の声に対応できると思います。(広報紙の充実+α、町内放送の利用方法) ●老朽化している施設をどう修繕していくか課題。維持修繕していくとなると専門分野での技術者が必要。町としても専門の技術者の人、技術を持った方が維持管理をどういう風にしていくかしっかりさせんといかん。

●今あるもののやり方、使い方を工夫したら、お金を使わなくても地域の声には対応できる! ●あるべき姿を示す際に、それが「実現可能かどうか」の精査が大事。足すことばかりになってしまったら、人が減っていく中では持続できない。ヒト、モノ、コト、カネ、ココロ。新しいことを始めるのに、どんなふうにも余裕・余白をつくるかという視点も必要ではないかと考える。 ●土佐町のHP 分かりづらい。欲しい情報がない。

●「捨てる」はマイナス。プラスの言葉が良い。 ●何もできんがやないろうか。

●思い切ったことしよう。

●柔軟な発想ができる ●がんばる補助金拡充 ●地区でお金使えるように

●目玉政策が必要 ●きちんと住民のみんなあにも浸透した計画になる ●ストンと胸に落ちる、明確な目標を住民に与えたらえい。 ●全体的に若者、子どもが中心に前に出ちゆう。もっと高齢者も大事に、 ●老若男女が一体となって守るべき、「オリジナルの土佐町」に言葉を振興計画に入れてもらいたいです。

編集・発行 高知県土佐町役場

〒781-3492 高知県土佐郡土佐町土居 194

電話 0887-82-0480 FAX 0887-82-2681

URL <http://www.town.tosa.kochi.jp>



第7次土佐町振興計画に関する詳しい調査結果や  
データは土佐町ホームページからご覧いただけます。